

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
障害者福祉		(人)必修 (リ)選択	2	(リ)2.3 (人)2	前期 後期(リ)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
小松 繁	講師控室	kyoumu		授業終了後に質問など受付	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;障害者福祉の理念や歴史、法制度の体系と内容、障害者を取り巻く社会状況、障害者が抱える生活課題とその支援について理解することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;障害者福祉の基本理念をもとに、障害者を取り巻く社会状況や生活実態の課題を認識し、どのような支援が必要かについて理解と考察を深められるよう授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	障害のある人が社会の一員として当たり前の生活を送るためにはどういったことが必要か、授業中やリアクションペーパー、オフィスアワーを活用して理解や考察を深めてほしい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 8 障害者福祉/編: 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	障害者福祉の理念について理解し、説明することができる。		HSU(1)、(2)、(3)、HC(1)、(2)、(3)		
②	障害者福祉の歴史について理解し、説明することができる。		HSU(1)、(2)、(3)、HC(1)、(2)、(3)		
③	障害者に対する法制度について理解し、説明することができる。		HSU(1)、(2)、(3)、HC(1)、(2)、(3)		
④	障害者を取り巻く社会情勢や生活課題について理解し、説明することができる。		HSU(4)、(5)、HC(3)、(6)		
⑤	障害者やその家族等に必要な支援について理解し、説明することができる。		HSU(4)、(5)、HC(3)、(6)		
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 授業の進め方、評価方法、学習方法について理解する。	講義	シラバスを精読する。		2
2	[障害者福祉の理念] 障害観の変遷と障害者福祉を支える基本理念について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第2章を精読する。		4
3	[ICFと障害の社会モデル] 国際障害分類 (ICIDH) と国際生活機能分類 (ICF)、医学モデルと社会モデルについて学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第1章第2節を精読する。		4
4	[障害者福祉の歴史①] 障害者処遇の変遷、障害者福祉制度の発展過程について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第3章第1・2節を精読する。		4
5	[障害者福祉の歴史②] 当事者運動、障害者権利条約と障害者基本法について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第3章第3・4節を精読する。		4
6	[障害者の生活実態、社会環境と課題] 障害者と家族の生活実態、障害者を取り巻く社会環境と課題について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第4章を精読する。		4
7	[障害者に対する法制度①] 法制度の全体像と各法律における障害者の定義について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第5章第1節、教科書第1章第1節を精読する。		4
8	[障害者に対する法制度②] 身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第5章第2・3・4・6節を精読する。		4
9	[障害者に対する法制度③] 障害者総合支援法、児童福祉法について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第5章第5・7節、第6章第2節第2項を精読する。		4
10	[障害者に対する法制度④] 障害者虐待防止法、障害者差別解消法、バリアフリー法について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第5章第8・9・10節を精読する。		4
11	[障害者に対する法制度⑤] 障害者雇用促進法、障害者優先調達推進法について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第5章第11・12節、第6章第1節第2項を精読する。		4
12	[関係機関と専門職の役割] 障害者と家族等の支援における関係機関・専門職の役割について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第6章、第7章第1節を精読する。		4
13	[障害者と家族等に対する支援の実際①] 医療的ケアが必要な人への支援、強度行動障害のある人への支援、長期入院からの地域移行支援について学ぶ。	講義 グループワーク	教科書第7章第2節を精読する。		4
14	[障害者と家族等に対する支援の実際②] 触法障害者への支援、医療的ケア児への支援、8050問題への対応について学ぶ。	講義 グループワーク			4
15	[まとめ] これまでの授業の総括を行う。	講義 グループワーク	これまでの授業内容を復習する。		6

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照		
---	-----------------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	期末試験を実施し、記述式および選択式の問題を出題する。行動目標①～⑤について総合的な達成度を判断できるよう出題し、評価する。	正答や模範解答を Teams で公表する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	授業終了後にリアクションペーパーを Teams にて提出する。授業内容の理解や取り組み状況等を確認し、評価する。	次回授業時にフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし。
教員の実務経験	社会福祉士として障害者福祉分野で 21 年の実践経験。
実践的授業の内容	教員が実践現場で出会った事例等を用い、実際の状況を理解できるよう工夫する。(事例は個人を特定できないように配慮する)
そ の 他	<p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</li> <li>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。</li> <li>・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は原則禁止する。</li> </ul>

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】